

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーン ふれあいコンサートについて

トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンのメンバーによる茅野市青少年と市民のための特別プログラムによるコンサートに無料招待します。特に次世代を担う青少年に世界最高レベルの音楽に触れてほしいとの思いから、その魅力を身近に感じていただく機会を提供します。

1 概要

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン国立劇場のメンバーを中心に編成された世界最高レベルの室内オーケストラ、トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンの11名による演奏。

2 日時 令和6年3月29日(金) 午後2時～(午後1時30分開場)

3 場所 茅野市民館

4 チケット配布 2月9日(金)午前9時から茅野市民館にて配布 ※先着順
※市内中学生へは別途優先的に配布

5 チケット費用 無料

6 プログラム 別紙チラシ

7 取材 スチールカメラ:オフィシャルカメラの写真を提供(事前にコンサート事務局へ連絡)
ビデオカメラ映像:ホール内で撮影可能(事前にコンサート事務局へ連絡)

8 問合せ

チケットに関する問合せ 茅野市民館 0266-82-8222(火曜日休館)

公演に関する問合せ ウィーン・プレミアム・コンサート事務局 03-5210-7555
(平日午前11時～午後6時)

茅野市 企画部地域創生課広報係

(課長) 小池俊正 (担当) 吉澤秀樹

電話: 0266-72-2101 (内線 234)

F A X: 0266-82-0234

茅野市ホームページ: <https://www.city.chino.lg.jp>

ウィーン・プレミアム・コンサート トヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンによる

茅野市青少年と市民のための特別プログラム

2024

3/29
(金)

ふれあいコンサート

14:00開演(13:30開場) 茅野市民館 マルチホール

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン国立歌劇場のメンバーを中心に編成された世界最高レベルの室内オーケストラトヨタ・マスター・プレイヤーズ、ウィーンの11名が、交通安全の祈願・発信拠点「聖光寺」がある茅野市に初上陸し、楽都ウィーンの香しい音色を奏でます。

プログラム

モーツァルト作曲/セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章

クライスラー作曲/ウィーン小行進曲

アンダーソン作曲/トランペット吹きの休日

モーツァルト作曲/歌劇「フィガロの結婚」より 序曲

ビゼー作曲/歌劇「カルメン」より “ハバネラ”、“闘牛士の歌”

ジョブリン作曲/メイプル・リーフ・ラグ

ヨーゼフ・シュトラウス作曲/ポルカ・シュネル「休暇旅行で」 他

無料で招待!

 (全席指定・要事前申込)

2/9(金)~

茅野市民館にてチケット配布

※先着順 受付:9:00~20:00(火曜休館)

予定枚数の配布が終了した場合、市民館ホームページでお知らせいたします。

●チケットに関するお問合せ

茅野市民館

0266-82-8222 (9:00~20:00/火曜休館)

●公演に関するお問合せ

ウィーン・プレミアム・コンサート事務局

03-5210-7555 (平日11:00~18:00)

©やむを得ない事情により、出演者、曲目が変更になる場合があります。予めご了承ください。 ©未就学児の入場はご遠慮いただいております。

※聖光寺はトヨタ自動車関連会社・地元の方の支えのもと、建立された交通安全祈願のお寺です。

主催:トヨタ自動車株式会社、トヨタグループ

特別協力:ウィーン国立歌劇場

協力:茅野市民館、茅野商工会議所、長野朝日放送、トヨタ販売店グループ

後援:茅野市、茅野市教育委員会

出演者紹介



【トランペット】
ステファン・ハイメル
〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1982年クラゲンフルト（オーストリア）に生まれたハイメルさんは、小学生の頃から世界的なトランペット奏者のお父様にトランペットを学び、ウィーン国立音楽大学を2002年に卒業しました。04年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、07年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団しました。



【フルート】
マティアス・シュルツ・アイグナー
〈ウィーン国立歌劇場舞台管弦楽団〉

1972年ウィーンに生まれたシュルツさんは、世界的なフルート奏者のお父様からフルートを教わり、ウィーン国立音楽大学を最も良い成績で卒業しました。ヨーロッパ各地の音楽祭に参加する他、現在はウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン放送交響楽団などでも演奏しています。



【第1ヴァイオリン】
ミハール・マチャシチック
〈ソリスト/ポリッシュ・アート・フィルハーモニック芸術監督〉

音楽を8歳から勉強し始めたマチャシチックさんは、ポーランドのポズナン音楽大学を卒業しました。ソリスト、室内楽奏者及び指揮者としても活躍しており、現在は、ポーランドのデル・アルテ・フェスティヴァル芸術監督も務めている他、客員教授として北京中央音楽院にも招かれています。



【オーボエ】
ヘルベルト・マデルターナー
〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1981年南オーストリアの音楽一家に生まれたマデルターナーさんは、お兄さんの元でクラリネットを始め、その後オーボエに変更して2000年ウィーン市立音楽院に合格しました。10年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、13年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団しました。



【第2ヴァイオリン】
アンドレアス・ノイフェルド
〈ベルリン放送交響楽団〉

1976年クラスノダール（ロシア）に生まれたノイフェルドさんは、マンハイム音楽大学を卒業しました。数々のオーケストラに出演し、98～09年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1ヴァイオリン奏者を務め、12年よりベルリン放送交響楽団第1ヴァイオリン・フォアシュペーラーを務めています。



【クラリネット】
ペーター・ロイットナー
〈ウィーン国立歌劇場管弦楽団客演奏者〉

1990年にウィーン国立音楽大学を卒業したロイットナーさんは、オーストリア国立歌劇場のメンバーを4年間務めた後、現在はウィーン国立歌劇場やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で演奏し、ウィーン・フィルのメンバーと共にCDをリリースするなど、活躍しています。



【ヴィオラ】
ペーター・サガイシェック
〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団ソロ・ヴィオラ〉

1965年ウィーンに生まれたサガイシェックさん。90年ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団に入団し、93年よりソロ・ヴィオラ奏者を務めます。これまでフィルハーモニー弦楽四重奏団、グスタフ・マーラー四重奏団、トリプルス・ウィーンのメンバーを務める他、ソリストとしても活躍しています。



【ファゴット】
ビアンカ・シュースター
〈ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団〉

1973年オーストリアに生まれたシュースターさんは、93年にウィーン芸術大学に入学しました。2012年よりウィーン・フォルクスオーパー管弦楽団第1ファゴット奏者に就任しました。現在はウィーン室内管弦楽団のメンバーで活動する他、グスタフ・マーラー私立音楽大学で教授も務めています。



【チェロ】
ペーテル・ソモダリ
〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団/ウィーン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ〉

1977年にヴェスプレーム（ハンガリー）に生まれたソモダリさんは、4歳よりチェロを始めました。室内楽奏者として、数々の音楽家と共演し、2012年ウィーン国立歌劇場及びウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・チェリストに就任しました。2018年よりウィーン国立音楽大学客員教授も務めています。



【ホルン】
ヤン・ヤンコヴィッチ
〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

1984年クロアチアのザグレブの音楽一家に生まれたヤンコヴィッチさんは、2008年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、11年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入りました。ウィーン・ヴィルトウオーゼンなどのメンバーとしても活躍しています。



【コントラバス】
ミハエル・ブラーデラー
〈ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団〉

南オーストリアに生まれたブラーデラーさんは、ウィーン国立音楽大学を最も良い成績で卒業しました。ウィーン交響楽団などのオーケストラに入り、2002年にはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入りました。ウィーン八重奏団などでも活躍し、世界各地で若い音楽家への指導もしています。

ウィーン・プレミアム・コンサート [公演スケジュール]

東 京：3月28日（木）19:00開演（18:15開場）東京オペラシティ コンサートホール
松 本：3月30日（土）14:00開演（13:15開場）キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）大ホール
豊 田：3月31日（日）14:00開演（13:15開場）豊田市コンサートホール
名古屋：4月 3日（水）19:00開演（18:00開場）愛知県芸術劇場コンサートホール
福 岡：4月 4日（木）19:00開演（18:15開場）アクロス福岡 福岡シンフォニーホール
札 幌：4月 5日（金）19:00開演（18:15開場）札幌コンサートホール Kitara 大ホール
仙 台：4月 6日（土）17:00開演（16:15開場）東京エレクトロンホール宮城 大ホール
東 京：4月 7日（日）16:30開演（15:45開場）サントリーホール 大ホール

公演の詳細は公式サイトにご確認ください。 <https://www.toyota.co.jp/tomas/>

